

山陰の金融経済動向

(概況)

山陰の景気は、持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加が一服している。公共投資は、緩やかに増加している。

製造業の生産は、弱めの動きとなっている。

この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。

1. 最終需要の動向

(1) 個人消費

個人消費は、回復している。

- 百貨店売上高は、弱めの動きとなっている。量販店売上高は堅調に推移している。ホームセンター販売額は、弱含んでいる。
- 家電販売額は、弱含んでいる。
- 新車登録台数は、持ち直している。
- 観光関連のうち宿泊客数は、回復している。

(2) 住宅投資

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

- 新設住宅着工戸数の内訳をみると、持家は、弱い動きとなっている。貸家は、持ち直しつつある。分譲は、増勢が鈍化している。

(3) 設備投資

設備投資は、増加が一服している。

- 短観の設備投資計画をみると、2024年度は、製造業において前年の積極的な能力増強投資や維持更新投資の反動がみられるほか、非製造業において新規出店の抑制がみられることから、前年を下回る計画となっている。

(4) 公共投資

公共投資は、緩やかに増加している。

- 公共工事請負金額をみると、緩やかに増加している。

2. 生産の動向

生産は、弱めの動きとなっている。

- 鉱工業生産を業種別にみると、電気機械は、弱めの動きとなっている。鉄鋼は、下げ止まっている。一般機械は、持ち直している。食料品は、増加が一服している。紙・パルプは、持ち直しの動きが一服している。木材・木製品は、持ち直している。繊維は、横ばい圏内で推移している。

3. 雇用・所得の動向

雇用・所得環境をみると、持ち直している。

- 有効求人倍率は、低下している。所得面は、改善している。

4. 物価の動向

- 消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、鳥取市、松江市とも前年を上回った。

5. 金融面の動向

- 金融機関(銀行・信用金庫計)の総預金残高(末残)をみると、個人預金を中心に前年を上回って推移している。
- 貸出金残高(末残)をみると、個人向けを中心に前年を上回って推移している。

- 貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、低水準横ばい圏内で推移している。

6. 企業倒産の動向

- 企業倒産は、件数はやや増加している。金額は低水準ながら、やや増加している。

以 上